

2026年7月28日

DENSO KOBELCO SARD GR Supra 第4戦富士、百折不撓に勝利を目指す！

SUPER GT 第4戦富士レポート



2026 SUPER GT 第4戦「FUJI GT 300km RACE」(8/1-2)
富士スピードウェイ(1周4.563km)

■事前情報

開幕から2戦を終え、両レースとも、あと一歩のところまで表彰台という戦いぶりを見せ、現在チームランキング5位につけているDENSO KOBELCO SARD GR Supra。第3戦セパンが延期となり、第4戦の舞台は再び富士スピードウェイでの開催。8月1日（土）午前に公式練習、午後にはノックアウト方式（Q1、Q2）の公式予選、2日（日）決勝は13時30分スタートの300km（66周：約2時間）で争われ、ドライバー交代を伴うピットストップは1回が義務付け。サクセスウェイトは現獲得ポイントの倍となる28kgを搭載する。重量増による富士でのタイムの落ち込みは、28kgだと約0.4秒ほど。タイヤの持ち込みセット数は、ドライ4/ウェット6セット（うち1セットはヘビーウェット対応用）で決勝スタートまで使えるドライのマーキングは4セットとなる。



夏休みとあってサーキットへキャンプも兼ね、多くの子供達の来場が予想され、近年は複合レジャー施設としても充実してきている富士スピードウェイ。西ゲート付近は複合商業エリアとしてオープンし、来場者数増が見込まれる。通常であればシリーズ前半の締めくりとなる第4戦であるが、3戦目となる本大会。セパン戦の延期によりインターバルが3ヶ月もあったため、各陣営ともクルマの熟成やチームのポテンシャルアップの機会を得ており、フタを開けてみないとパワーバランスが不明。DENSO KOBELCO SARD GR Supraもこれまでのデータを深く解析して臨む、この第4戦で大量ポイントを獲得できればランキングリーダーに十分に近づくことは可能で、後半戦に向けて逆襲のターニングポイントとしたいところ。猛暑が続いて雷雨が訪れやすい不安定な天候や運も含め波乱が起きやすく、レース戦略と瞬時の判断、チームの総合力があらためて試される300kmで戦う第4戦富士。協阪寿一監督のもとチーム一丸となって幾度挫折があっても決してくじけず、百折不撓に勝利を目指していく。

■Partners

TOYOTA

WAKOS

KOBELCO PROJECT 120

SDG

OMP

KOBELCO STEELERS

GR GAZOO Racing

豊田自動織機

UNIVANCE

LS
LS-CORP JP

MZ
MECHANIC WEAR

GRAND

DENSO

JTEKT

INOS

TONE

MAKE WINNER

KOBELCO

豊田合成

transcosmos
digital technology

MIZUNO

UNIMAT LIFE

TGR-D

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

PS 築日サービス

ENKEI

admic

BRIDGESTONE

豊田通商

小松開発工業

hp

■情報参照先

●サード公式ウェブサイト : <https://www.sard.co.jp>



[X](#)

[Facebook](#)

[Insta](#)

[threads](#)

[YouTube](#)

[TikTok](#)

●SUPER GT : <https://supergt.net/jp>



■本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp

SARD

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

www.sard.co.jp